

運動部活動の地域移行に向けた実証事業 最終報告

1. 基本情報

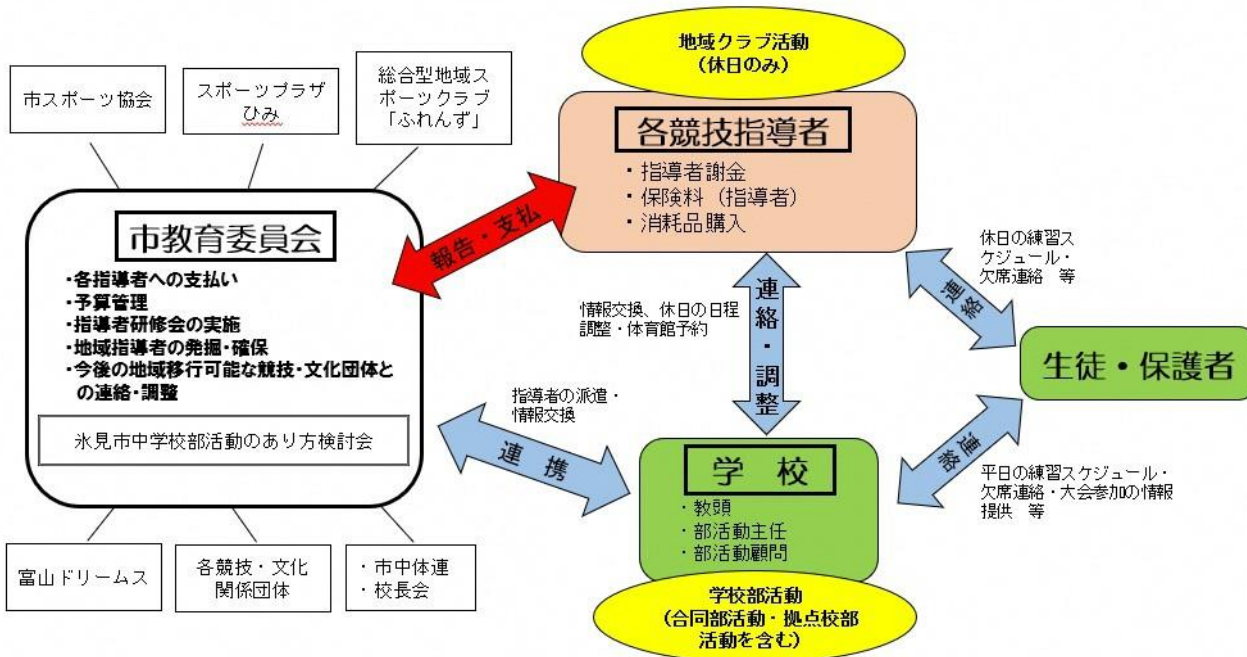
氷見市

基本情報

中学校数	5 校	休日の部活動の地域移行に取り組む中学校数	5 校	平日の部活動の地域移行に取り組む中学校数	0 校	協議会・検討会議等の設置状況	設置済
中学校生徒数	914 人	休日の部活動の地域移行に取り組む部活動数	5 部活	平日の部活動の地域移行に取り組む部活動数	0 部活	推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中
部活動数	45 部活	休日の部活動の地域移行に取り組むクラブ数	4 クラブ	平日の部活動の地域移行に取り組むクラブ数	0 クラブ	休日の部活動の完全移行予定年度	検討中

運営体制・役割

▼運営体制図



▼運営体制組織内での役割分担

- **氷見市委員会** (学校教育課・スポーツ振興課)
 - ・あり方検討会の事務局・開催
 - ・学校・クラブとの連絡調整
 - ・市スポーツ協会・プロスポーツチームとの連絡調整 等
 - ・県教育委員会との連絡調整 等
 - ・指導者研修会の企画・運営・報告
- **市スポーツ協会、総合型SC**
 - ・競技団体との連絡調整
 - ・指導者の派遣 等

2. 実証内容と特色

取組内容

- ・指導者への指導者謝金・保険料を負担することで、指導者の確保を図る。
- ・学校・保護者・各関係団体・プロスポーツチームと連携を図り、休日の地域クラブ活動の指導体制の組織作りを行う。
- ・市スポーツ協会と連携し、大学教授や消防士による研修会を開催し、指導者の質の向上を図る。

年間の事業スケジュール

- 4月 指導者・顧問との打合せ
- 5月 保護者説明会(男子バレー)
- 7月 保護者説明会(男子バスケ・男女ソフトテニス)
- 8月 地域クラブ活動開始
- 9月 指導者研修会①(救急救命)
- 12月 次年度に向けて中学校説明会で周知
- 1月 指導者研修会②(ハラスメント・コーチング)
地域クラブ参加者・保護者・指導者へのアンケートを実施
- 2月 アンケート結果を検証
氷見市中学校部活動のあり方検討会を開催
- 3月 各競技団体の理事会を開催

特色

- ・休日の地域クラブ活動は、競技の実情に合わせた形態で実施。
 - * 完全な地域移行ではなく、学校部活動と地域クラブ活動を併用した「地域連携」
 - * 複数校からなる競技は、合同での練習会を開催（月1～2回程度）
- ・市内中学校の体育施設を学校部活動と同じ条件（日中）で使用可能にすることで、会場費の軽減と保護者の送迎の負担を軽減。 ※学校開放事業（「プラザひみ」に登録・年会費が必要）
- ・各競技団体の理事会を開催し、実施状況を発表することで、情報共有を図る場とする。

3. 成果と課題

成 果

- ・学校部活動の部活動指導員やエキスパートが指導者として携わることで、生徒・保護者・学校からの信頼度が高くスムーズに実施できる。
 - * 顧問と指導者が連携しやすく、スムーズに学校施設の確保や日程調整ができる。
 - * 日頃から生徒との関係を良好に築くことができる。
- ・1月の指導者研修会は市スポーツ協会と連携し、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者スポーツ指導者資格の更新研修」を兼ねることで、指導者育成の一環として実施することができる。

課 題

- ①プロスポーツチームによる地域クラブ活動は、リーグ戦のシーズン中はスケジュール調整が難しく、実施することができない。
- ②複数校からなる競技は、生徒数が多くなり、指導者の数や会場の大きさ等の問題が出てくるため、地域移行が困難である。

4. 課題解決に向けて、今後の方向性

課題解決に向けて

- ①次年度の活動に向けて、早い段階からプロスポーツチームの動向と学校行事・大会等の年間を通したスケジュール調整を行う。また、引退した選手による指導体制を構築する。
- ②競技によって練習形態が異なるため、実情に応じた体制で実施できるようサポートする。
 - * 地域移行を進める前に、生徒・保護者・指導者への意向調査を実施する。
 - * 各競技団体の理事会において、実施している競技についての情報提供を行い、実施可能な形を提案する。
 - * 複数校からなる競技においては、2チームに編成し、会場を分割して練習を実施する。

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

